

■(景山)福田英子 社会運動家、民権家。女権拡張先駆者として、挑戦と挫折繰り返し、ついに弾圧で中断させられた。

ふくだひでこ

薩摩藩士密航1865= 備前国岡山で、岡山藩士景山確の次女に生まれる。母は寺子屋の教師。

明治維新・・・1868= 3歳：

明治6年政変 1873= 8歳：

佐賀の乱・・・1874= 9歳：

琉球処分・・・1879=14歳：縁談を断り、経済的自立を志して、小学校助教をつとめるうち、

明治14年政変1881=16歳：

新体詩抄・・・1882=17歳：岸田俊子の演説を聴いて女性解放を志し、

岩倉具視没・・・1883=18歳：\*民権論活動家の小林樟雄と結ばれ、「人間廟堂論」を演説して女闘士と呼ばれ、女子教育のために夜間部をもつ私塾蒸紅学舎を母とともに設立、女子懇親会を開くなどしたが、

秩父事件・・・1884=19歳：集会条例により学舎は閉鎖命令をうける。上京し、大井憲太郎らと自由民権運動を進め、

内閣発足・・・1885=20歳：\*朝鮮の内政改革運動に参加して資金調達などを担当。逮捕・投獄され(大阪事件)、紅一点として有名に。大阪・京都の芸妓たちは花柳演説会を開いて資金を集め、獄中の英子を支援した。

帝国憲法発布1889=24歳：出獄。小林と別れ、大井とともに関西各地を遊説し、1子をもうけるが、大井の裏切りのため離別、

男はあてにならないと、家族総出で塾を開設、

大本教・・・1892=27歳：アメリカ帰りの社会運動家福田友作と再婚、貧しいが温かい生活を築き、

日清戦争始・・・1894=29歳：

3子を生んだが、

ビアノ国産化・・・1900=35歳：夫と死別。キリスト教に入信し、

田中正造直訴1901=36歳：\_女性の経済的自立を目的とした角筈女子工芸学校を開設して実業教育にあたったが、  
\_経営に失敗。

日露戦争始・・・1904=39歳：\_自伝「妾の半生涯」を出して総括、

日露戦争終・・・1905=40歳：\_小説「わらはの思出」。この頃、11歳年下の石川三四郎と親しくなり、平民社に出入りして社会主義に近づき、女性解放への道は社会主義以外にないことを悟り、安部磯雄・木下尚江・幸徳秋水らの協力を得て、

韓国反日暴動1907=42歳：\*日本初の女性向け社会主義新聞雑誌{世界婦人}を創刊、海外の婦人参政権運動の紹介などを通じて女性の政治的独立を主張した。管野スガらと治安警察法5条の改正を議会に請願。

アラクイ創刊・・・1908=43歳：石川三四郎と同棲、

伊藤博文暗殺1909=44歳：\*しかし経済的苦境と厳しい弾圧のために第38号をもって終刊となった。

韓国併合・・・1910=45歳：

明治天皇没・・・1912=47歳：

大正政変・・・1913=48歳：石川と離別。{青鞥}に「婦人問題の解決」を寄稿、

\_その後も、田中正造を後援して足尾鉍毒事件の犠牲者となった谷中村民の救済に尽くし、

ベル仁条約・・・1919=54歳：

原敬首相暗殺1921=56歳：

金融恐慌・・・1927=62歳：\_ {婦選}に往年の活動の思い出「自由民権時代の婦人の政治運動」を寄稿後、没した。